組曲「何気ない日々」の 「窓」の制作について

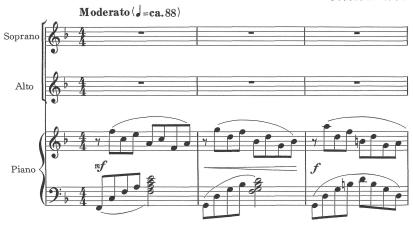
安村 好弘

この仏教讃歌「窓」は山崎澍朗氏作詞の詩編「何気ない日々」よりの一編です。 現在、歌い継がれている仏教讃歌・仏教聖歌は数多く残っています。私は、 これまで数多くの仏教讃歌に接してきましたが、今回、現代にふさわしい新し い詩に出会うことができました。そして、この詩を用いて女声合唱曲を作曲し ました。

曲は、自由な形式の女声二部で構成しています。詩のイメージを生かし誰も が親しめる楽曲に仕上げてみました。今後、この作品が歌われ続けていくこと を願っています。

女声合唱組曲「何気ない日々」より 「窓」(1993)

山崎澍朗 作詞 安村好弘 作曲

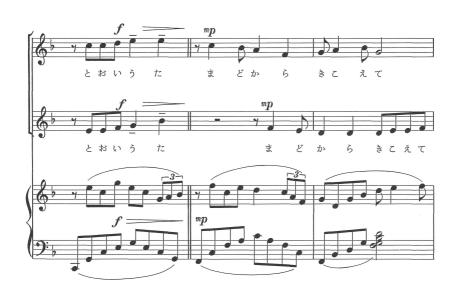








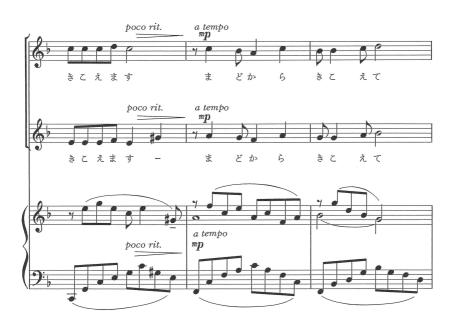


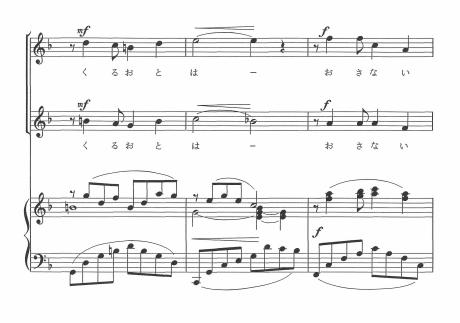










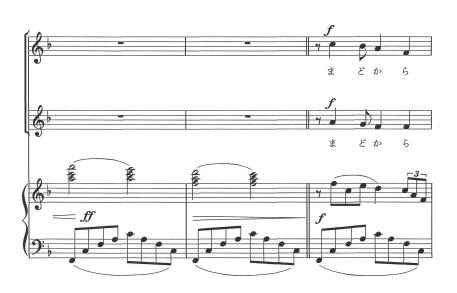


















窓

山崎 澍朗 作詞

窓からきこえてくるうたは あれは昔の子守歌 おばあちゃんから 母さんへ うたいつがれた遠い歌

窓からきこえてくるものは 低い読経とリンの音 おじいちゃんに教えられ 子供の声も聞こえます

窓からきこえてくる音は 幼いあの子のピアノの調べ 月夜の道は どこまでも 白く光って続きます

窓からきこえてくるものは ほの暖かい人生の 何事もない 幸せの音